

経済・産業・雇用に関する調査会

委員一覧 (25名)

会 長	広中	和歌子 (民主)	神取	忍 (自民)	藤本	祐司 (民主)
理 事	小池	正勝 (自民)	北岡	秀二 (自民)	柳澤	光美 (民主)
理 事	南野	知恵子 (自民)	小泉	昭男 (自民)	和田	ひろ子 (民主)
理 事	松村	祥史 (自民)	佐藤	昭郎 (自民)	松	あきら (公明)
理 事	尾立	源幸 (民主)	西島	英利 (自民)	井上	哲士 (共産)
理 事	小林	元 (民主)	野村	哲郎 (自民)	淵上	貞雄 (社民)
理 事	澤	雄二 (公明)	松田	岩夫 (自民)	又市	征治 (社民)
	岩井	國臣 (自民)	伊藤	基隆 (民主)		
	大野	つや子 (自民)	下田	敦子 (民主)		(18.11.8 現在)

(1) 活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、経済・産業・雇用に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、平成16年10月12日（第161回国会）に設置され、同年11月に調査項目を「成熟社会における経済活性化と多様化する雇用への対応」と決定した。

今国会においては、平成18年11月8日に、厚生労働省から「雇用をめぐる現状と課題」について、経済産業省から「経済成長戦略大綱」について、それぞれ説明を聴取し、質疑を行った。

11月22日には、「非正規雇用をめぐる現状と課題」について、株式会社ジョーズ・ラボ代表取締役城繁幸君、京都大学大学院経済学研究科教授橘木俊詔君、慶應義塾大学商学部教授樋口美雄君の各参考人から意見を聴取し、質疑を行った。

また、11月29日に都内視察（キッザニア東京）を行った。

〔調査の概要〕

11月8日の調査会では、「雇用をめぐる現状と課題」について松野厚生労働大臣政務官から、「経済成長戦略大綱」について渡辺経済産業副大臣及び鈴木経済産業省経済産業政策局長から、それぞれ説明を聴取した後、請負業における社会保険加入状況、国民生活金融公庫における緊急融資ができる体制整備の必要性、いわゆる「ワーキングプア」に対する認識と取組、必要とされる介護施設等を各中学校区に備えた場合の経済波及効果、フリーター2割減という目標値に対する認識と対応、いざなぎ景気時と現在の失業率の比較、非正規雇用についての評価と数値目標化の必要性、経済成長と消費税との関係についての見解、移転価格税制に関する企業とのトラブルを解決するための方策及び取組状況、両立支援対策における意識改革の必要性と国の施策、非正規雇用の増加等雇用制度上の問題が社会の弱体化を招く危険性等について質疑を行った。

11月22日の調査会では、参考人から、日本の給与システム、年功序列制度の負の側面、非正規労働者が増加した理由、正規・非正規労働者の格差を縮小する策、最近の我が国における性・年齢別雇用形態多様化の現状等について意見が述べられ、労働組合の意識改革の必要性、非正規雇用の現状についての認識、業務請負の在り方、最低賃金制度の在り方、効率優先の経済政策を見直す必要性、日本とヨーロッパのニート・フリーターの違い、雇用問題で法改正が必要と考えられる事項等について質疑を行った。

(2) 調査会経過

○平成18年11月8日(水)(第1回)

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 経済・産業・雇用に関する調査のため必要に応じ参考人の出席を求めることを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 「成熟社会における経済活性化と多様化する雇用への対応」のうち、雇用をめぐる現状と課題について松野厚生労働大臣政務官から説明を聴き、経済成長戦略大綱について渡辺経済産業副大臣及び政府参考人から説明を聴いた後、渡辺経済産業副大臣、松野厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕松あきら君(公明)、松村祥史君(自民)、井上哲士君(共産)、下田敦子君(民主)、淵上貞雄君(社民)、小池正勝君(自民)、小林元君(民主)、澤雄二君(公明)、尾立源幸君(民主)、大野つや子君(自民)、伊藤基隆君(民主)

○平成18年11月22日(水)(第2回)

- 「成熟社会における経済活性化と多様化する雇用への対応」のうち、非正規雇用をめぐる現状と課題について参考人株式会社ジョーズ・ラボ代表取締役城繁幸君、京都大学大学院経済学研究科教授橋本俊詔君及び慶應義塾大学商学部教授樋口美雄君から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕小池正勝君(自民)、伊藤基隆君(民主)、広中和歌子君(会長質疑)、澤雄二君(公明)、吉川春子君(共産)、淵上貞雄君(社民)、西島英利君(自民)

○平成18年12月13日(水)(第3回)

- 経済・産業・雇用に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。